

SONY®

モービルカラーTV

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

正しい取付け 正しい操作で 安全運転

XTL-610
(ナビシステム用)

© 1996 by Sony Corporation





安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・運転者は走行中に操作をしない。
- ・車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ・ナビゲーションでのルート案内時は、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたことがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み



破裂

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

主な特長

- ・ バックライトコントロール方式(DIMMER)を採用することで、コントラストの劣化が少なく、色の反転やつぶれのない画像を追求。また、周囲の明るさに応じて、画面の明るさを無段階で自動調整、または手動調整ができます。
- ・ 低反射処理の液晶パネルで外光の反射を低減。
- ・ 画面を消して音声だけを楽しめる消画機能。
- ・ モニター部でテレビの基本操作が可能。
- ・ FMラジオ付カーオーディオでテレビなどの音声が楽しめるFMステレオトランスマッター。
- ・ ステレオ、二ヶ国語放送(二重音声)が楽しめる音声多重回路。
- ・ 4本のアンテナから受信状態の良いものを選び、受信する4系統ダイバーシティユニット。
- ・ 受信できる局を12局まで自動的にメモリーできるオートメモリー機能。
- ・ ナビシステムやビデオ、リアモニターなどが接続できる豊富な入出力端子。
- ・ ナビゲーション画面を映しながら、テレビとナビゲーションの音声を同時に聞くことができるサイマル機能。
- ・ モニターを2台接続し、前席でナビシステムを、後席ではテレビを同時に見ることができるパラレルラインアウト機能。
- ・ ソニーのナビリモコンで選局と音量調節が可能です。

目次

| | |
|---|----|
| △警告 | 4 |
| ナビゲーションの画面を見る | 6 |
| テレビを見る | 7 |
| チャンネルを自動メモリーする (オートメモリー機能) | 8 |
| ビデオなどを見る | 9 |
| ナビゲーションシステムの画面を映しながら テレビやビデオの音声を聞く (サイマル機能) | 10 |
| 画面を消して音声だけを聞く (消画機能) | 11 |
| 音声を切り換える | 12 |

| | |
|---|----|
| 画質を調整する | 13 |
| 画面の明るさを調整する (ライトコントロール機能) | 14 |
| カーオーディオで音声を聞く (FMステレオトランスマッター) | 15 |

付録

| | |
|------------------|----|
| 各部の名称 | 16 |
| 使用上のご注意 | 18 |
| 故障かな?と思ったら | 21 |
| 主な仕様 | 22 |

警告



火災



感電

下記の注意を守らないと火災・
感電により死亡や大けがの
原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



規定容量のヒューズを使う

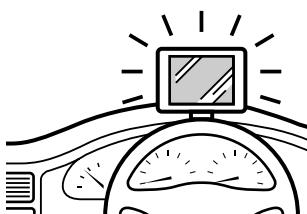
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



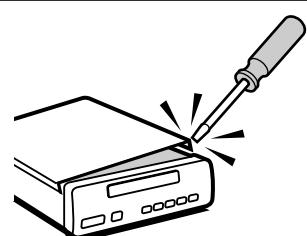
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



雷が鳴りだしたらアンテナ線やテレビには触れない

感電の原因となります。

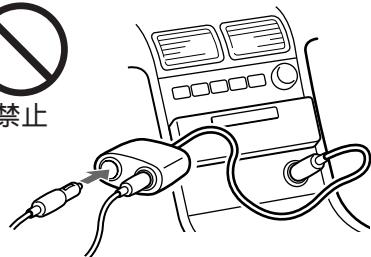
下記の注意はNVX-F70に付属されている場合です。

電源はシガレットライターソケット
から直接取る

ニ又ソケットなどを利用したタコ足配線から
電源を取ると配線が加熱し、火災や感電の原
因となります。



禁止

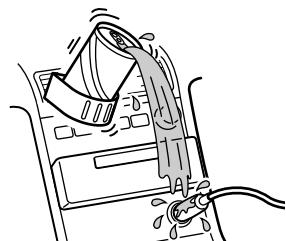


シガープラグに水などをかけない

水などがかかると火災や感電の原因となります。万一、水などがかかったときは、すぐに
プラグを抜き、水分をきれいに取り除いてください。



禁止

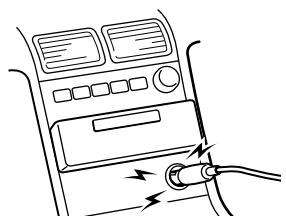


シガープラグは確実に挿入する

奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全だと異常発熱する恐れがあります。また、
シガープラグを差し込むときや抜くときは、
イグニッションスイッチをOFFにしてください。

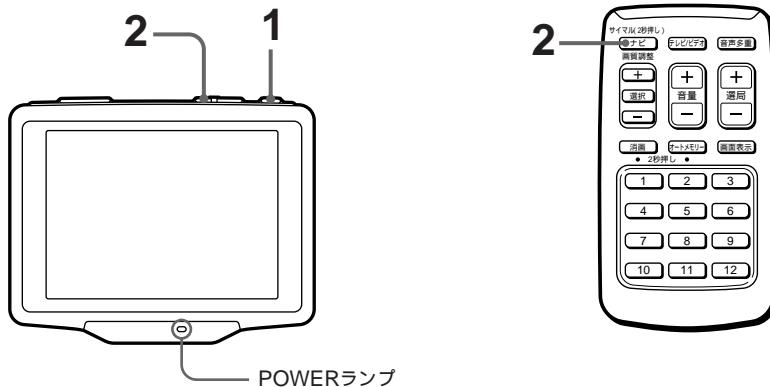


禁止



ナビゲーションの画面を見る

ナビ画面切り換えボタンを短く押すと、ナビの画面に切り換わります。このとき、画面に約5秒間「NAVI」と表示されます。ナビゲーションの画面は走行中でも映ります。



1 POWERスイッチを押す。

POWERランプが点灯します。

2 ナビ画面切り換えボタンを短く押す。

(モニターのNAVIボタンでも操作できます。)

ご注意

- ・ナビゲーションの操作は、ナビゲーションシステム側のリモコンで行なってください。
- ・本機のPOWERスイッチは、ナビゲーションシステムの電源の入／切とは連動していません。

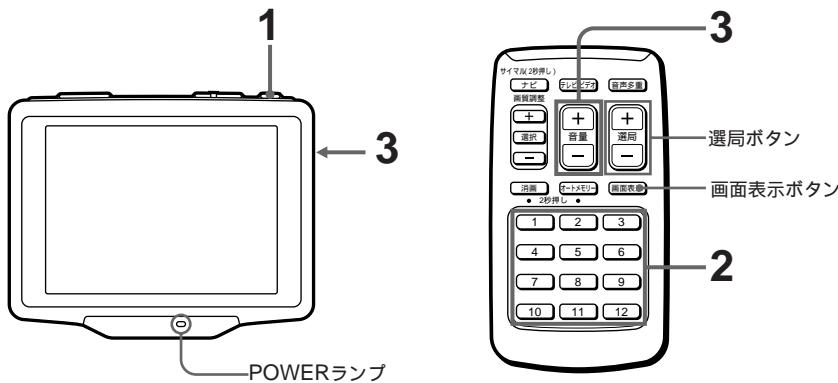
後席用モニターを接続した場合

本機では運転席用モニター以外に後席用モニターを接続することができます。
(パラレルラインアウト機能)

運転席用モニターでナビゲーションの画面を見ても、後席用モニターではナビゲーションの画面を見ることはできません。このとき、サイマル機能を使用していると、後席用モニターでテレビやビデオの音声だけでなく画面も見ることができます。

テレビを見る

お買い上げ時には、VHF放送の1~12チャンネルがダイレクト選局ボタンの数字どおりに映るように設定されています。



- 1** POWERスイッチを押す。

POWERランプが点灯します。

- 2** 見たいチャンネルのダイレクト選局ボタンを押す。

画面の右上に、受信中のチャンネルが約5秒間表示されます。

- 3** 音量を調節する。

あらかじめモニターのVOLつまみを適当な音量に設定しておいてください。

ご注意

走行中は安全のためテレビ画面は映りません。

チャンネル番号を画面に表示するには

画面表示ボタンを押します。もう一度押すと表示は消えます。

テレビを消すには

POWERスイッチを押します。

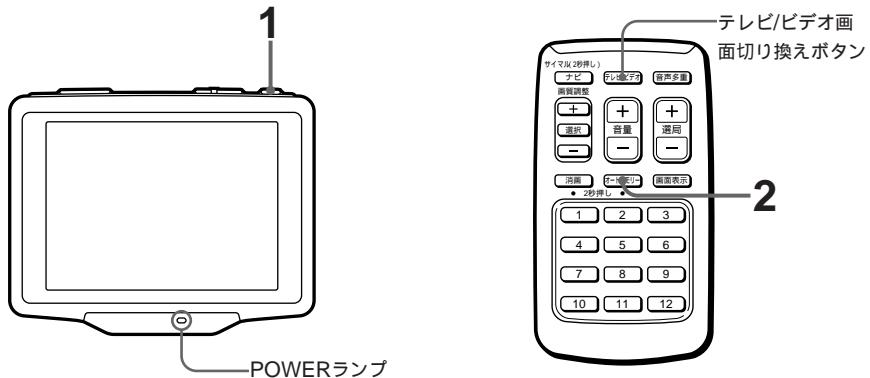
自動選局と音量調節はナビシステムのリモコンで操作できます。（操作についてはナビシステムの取扱説明書を参照してください。）

旅先などでメモリーしたチャンネルが受信できないとき

選局ボタンを短く押して離します。受信できる放送局を自動的に探し始め、受信すると止まります。見たい局が受信できるまで、ボタンを繰り返し押します。

チャンネルを自動メモリーする (オートメモリー機能)

VHF/UHF放送が合わせて12チャンネルまでメモリーできます。VHF放送の1~12チャンネルが、ダイレクト選局ボタンの数字どおりにメモリーされます。VHF放送のチャンネルがメモリーされていないボタンに、UHF放送の13~62チャンネルが順番にメモリーされます。



1 POWERスイッチを押す。

POWERランプが点灯します。

画面の表示が「VIDEO1」「VIDEO2」または「NAVI」の時は、テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押して、テレビにします。（「VIDEO1」「VIDEO2」または「NAVI」の表示が消え、テレビ画面になります。）

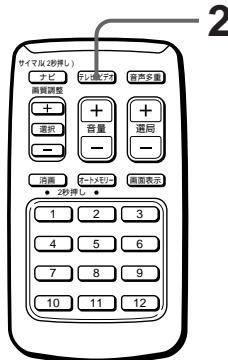
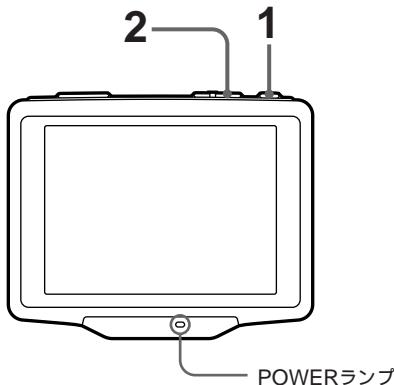
2 オートメモリーボタンを2秒以上押す。

オートメモリーの動作中は、画面の右上に受信したチャンネルが順番に表示されます。

ビデオなどを見る

TVチューナーユニットにビデオ機器を接続しているとき

接続の詳細については別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。



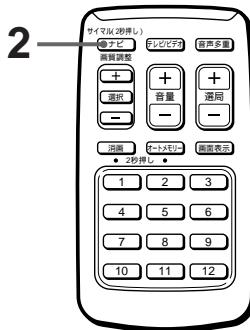
- 1** POWERスイッチを押す。
POWERランプが点灯します。
- 2** テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押す。
(モニターのTV/VIDEOボタンでも操作できます。)
TV(チャンネル表示)→「VIDEO1」→「VIDEO2」の順に切り換わります。「VIDEO1」または「VIDEO2」に切り換えてください。
- 3** 接続したビデオ機器の電源を入れ、再生する。

ご注意
走行中は安全のためビデオ画面は映りません。

ナビゲーションシステムの画面を映しながら テレビやビデオの音声を聞く(サイマル機能)

ナビゲーションシステムの画面を映しながら、テレビの音声を同時に聞くことができます。

サイマル機能が動作中でも、ナビゲーションの音声は聞こえます。



- 1 テレビまたはビデオの画像を映す。
- 2 ナビ画面切り換えボタンを2秒以上押す。
ナビゲーション画面が映りますが、音声は表示されているテレビのチャンネルまたはビデオの音声になります。

他のチャンネルの音声を聞きたいとき

ダイレクト選局ボタン、または選局ボタンを押してチャンネルを変えてください。

サイマル機能を解除するとき(テレビやビデオの音声を消す)

ナビ画面切り換えボタンを2秒以上押します。

テレビやビデオの画面にするとき

テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押します。

画面を消して音声だけを聞く（消画機能）



消画ボタンを2秒以上押す。

今見ていた画面（バックライト）が消え、音声だけが聞こえます。

消画ボタンをもう一度押すか消画ボタン以外のボタンを押すと、再び画像が映ります。消画状態は、電源を切ったり、イグニッションキーをOFFにすると解除されます。

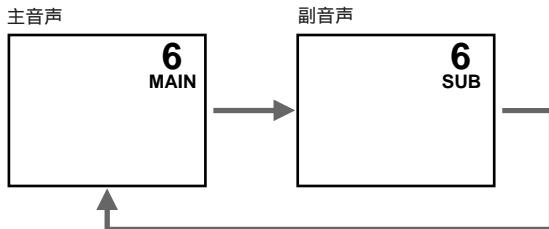
音声を切り換える

音声多重放送を受信すると、現在受信している音声モードの状態が画面に表示されます。二ヵ国語放送(二重音声)の場合、MAIN(主音声)またはSUB(副音声)を選んで聞くことができます。



音声多重ボタンを押す。

音声多重ボタンを押すごとに、音声は下記の順に切り換わります。



ステレオ放送のときは自動的にステレオになり、画面に「STEREO」が表示されます。



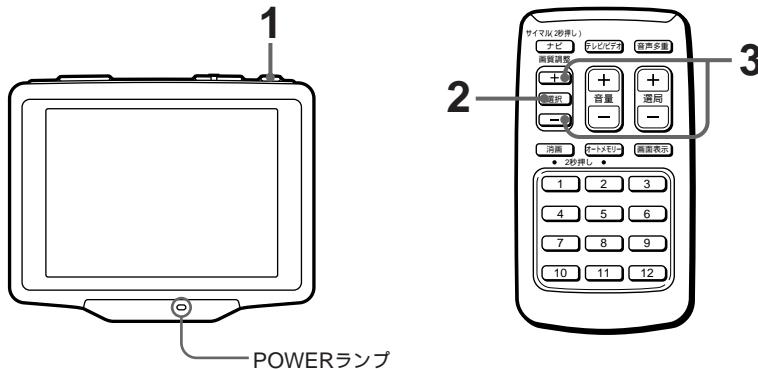
ステレオ放送が聞きにくいときは、音声多重ボタンを押してモノラルに切り替えます。音はモノラルになりますが、聞きやすくなります。

ご注意

- 内蔵スピーカーの音声はモノラルです。ステレオ放送を聞くには、FMステレオトランスミッターをお使いください。
- SUB(副音声)に切り換えたあとは、電源を再度入れたり、チャンネルを換えても音声は副音声に固定されます。

画質を調整する

周囲の明るさや見る位置に合わせて、画面の色の濃さ、色合い、明るさ、視野角を調整し、見やすくすることができます。

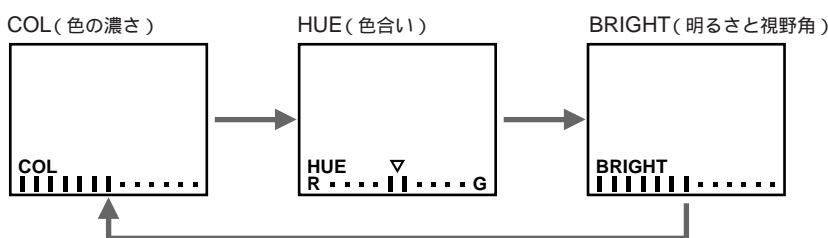


1 POWERスイッチを押す。

POWERランプが点灯します。

2 画質調整の選択ボタンを押す。

画質調整の選択ボタンを押すごとに調整内容が下記の順に切り換わります。



ソニーデジタルマップナビシステムの画面では、BRIGHT(明るさと視野角)のみ調整できます。

3 画質調整の+/-ボタンを押して調整する。

5秒以内にボタンを押してください。5秒を過ぎるともとの画面に戻ります。

| | COL 濃くなる | HUE 緑がかる | BRIGHT 明るくなる |
|----|-------------|-------------|-----------------|
| +側 | ↓ | ↑ | ↑ |
| -側 | 薄くなる | 赤みがかる | 暗くなる |

画質を調整する(つづき)

BRIGHT(明るさと視野角)の調整について

モニターの取り付け位置によって画面の明暗が反転したり、白く見えたりすることがあります。そのときは、+、-ボタンで調整してください。

リモコンの選択(画質調整)ボタンを2秒以上押すと、画面に「VISUAL STD」が表示され、すべての調整項目が標準状態(出荷状態)になります。

画面の明るさを調整する(ライトコントロール機能)

周囲の明るさに合わせて、液晶パネルに内蔵されているバックライト(蛍光管)の明るさを調節し、画面を見やすくすることができます。モニター側面部のDIMMERスイッチをAUTOまたはMANUALに切り換えてください。

モニター側面部

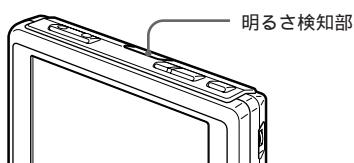


AUTO : 明るさ検知部で車内の明るさを検出し、自動的に画面を見やすい明るさに調節します(オートライトコントロール)。
AUTOでは、MANUALつまみは使えません。

MANUAL : 画面の明るさをお好みのレベルに調節することができます。
MANUALつまみで調節します。

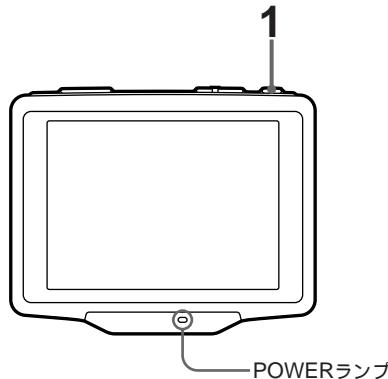
ご注意

明るさ検知部をふさがないようにしてください。オートライトコントロール時に動作しなくなります。



カーオーディオで音声を聞く (FMステレオトランスミッター)

テレビの音声をFM信号に変換し、カーオーディオのFMチューナーで受信して聞くことができます。



- 1 POWERスイッチを押す。
POWERランプが点灯します。
- 2 お手持ちのカーオーディオのFMチューナーの電源を入れる。
- 3 TVチューナーユニットで設定した周波数に合わせる。
TVチューナーのFMトランスミッター周波数切換スイッチで設定した周波数(76.7MHzまたは78.7MHz)に合わせます。(詳しくは別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。)

音量を調節するとき

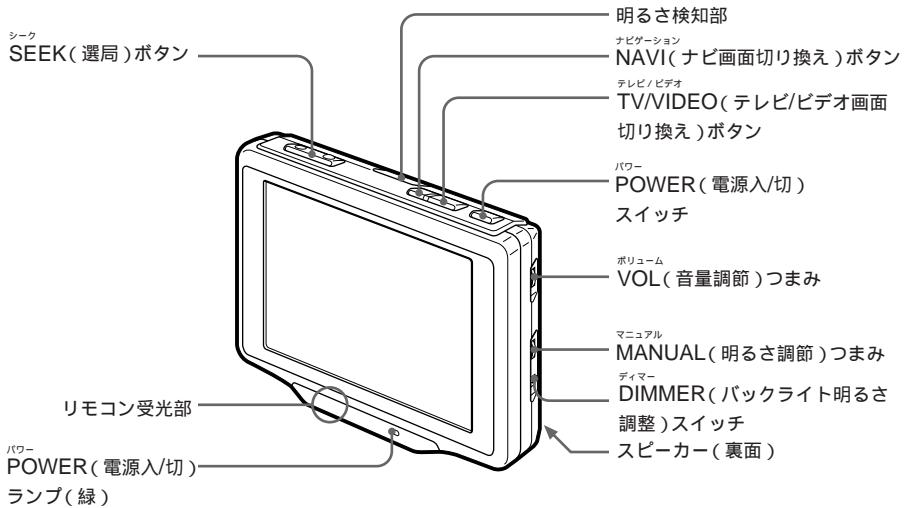
モニターの音量を小さめにしておき、カーオーディオ側で音量を調節します。
(モニターからも同時に音声が出力されています。)

ご注意

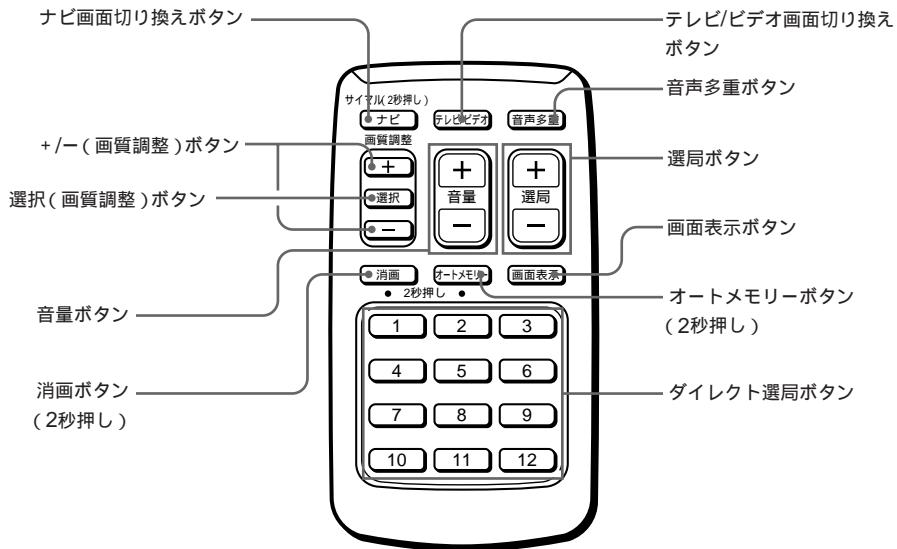
- 設定した周波数がFM放送と混信するときは、TVチューナーの周波数切り換えスイッチを切り換えてください。
- カーオーディオのサーチモードでFM放送の周波数を合わせると、設定した周波数で止まらないことがあります。この場合は、マニュアルで合わせてください。

各部の名称

モニター



リモコン



使用上のご注意

プラスチック部品について

モニターやリモコンなどのプラスチック部品に、殺虫剤やヘアスプレーをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

異物について

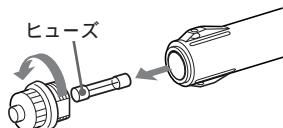
内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさないでください。そのままご使用になると火災や感電、故障、事故の原因となります。

ヒューズの交換について

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。ヒューズ交換などの修理をご依頼のときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へご持参ください。

NVX-F70/FW86の場合

プラグ先端部をはずし、ヒューズを取り出します。新しいヒューズを入れ先端部をしっかりと締めます。

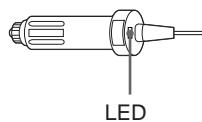


ご注意

- 自動車のシガレットライターソケットの内部が汚れていると、接触不良によりプラグ部分が熱くなることがあります。お使いになる前に必ずきれいにしてください。
- 動作中および使用直後は、シガープラグやシガレットライターソケットが熱くなっています。手を触るとやけどやけがの原因となります。

シガープラグについて(NVX-F70/FW86の場合)

イグニッションキーをOFFにしても、シガレットライターソケットへの電源が切れない車があります。
(シガープラグ後部のLEDが消えません。) このような車でご使用の場合、使い終わったら必ずシガープラグを抜いてください。接続したままにしておくと、バッテリーがあがってエンジンがかからなくなります。



使用上のご注意(つづき)

無線機や携帯電話について

本機の近くで無線機や携帯電話を使用すると、画像が乱れることがあります。本機から遠ざけるか、使用をやめてください。

液晶パネルについて

- ・ 液晶パネルの前面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- ・ お手入れについては、次のことにご注意ください。
 - 液晶パネルについたほこりやゴミ、指紋などは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませてふきとってください。
 - ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
 - 静電気防止剤なども、逆に液晶パネルを傷めることができますので使用しないでください。
- ・ 寒いところでご使用になる場合、内部照明装置(バックライト)が暗くなりますが、車内の温度が上がるともとに戻ります。
- ・ 温度が -10 以下または60 以上のところではご使用にならないでください。
- ・ かなりの低温または高温になると映りが悪くなることがあります、故障ではありません。常温に戻ると回復します。

モニター画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現われることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶パネルの性質上発生するものです。

液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。また、電源を切ったときに数秒間画面に乱れが出ることがあります。あらかじめご了承ください。いずれの場合もお使いになる上で支障はありません。

事故防止のために

テレビ/ビデオ画面は、車を止めて、パーキングブレーキを引いてあるときのみ映ります。パーキングブレーキを戻すと、安全のため下のような画面を約5秒間表示した後、自動的にテレビ/ビデオ画面を消し、音声のみとなります。

PICTURE OFF
FOR
YOUR SAFETY

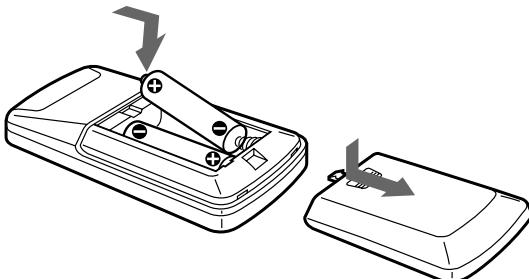
運転をしながら、チューナーユニットに接続されている機器を操作したり、モニターの画面を見たりしないでください。事故につながるおそれがあり、危険です。

使用上のご注意(つづき)

リモコンについて

電池の入れかた

単3乾電池2本を $\oplus\ominus$ を正しく入れる。



電池の交換時期は？

ふつうの使いかたで約6か月もちます。

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないことがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。



- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



- + ヒーの向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液漏れが起こったときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを放置しないでください。熱により、リモコンが変形するおそれがあります。(特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンをグローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、モニターの受光部にリモコンを近づけて操作してください。

故障かな？と思ったら

| 症状 | 原因(および処置) |
|--|--|
| 画像、音がまったく出ない。 | <ul style="list-style-type: none">・カーバッテリーコードがシガレットライターソケットからはずれている、またはしっかり接続されていない。(NVX-F70のみ)・POWERスイッチを押す。・テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押す。 |
| 画像は出るが音が出ない。 | リモコンの音量ボタンの + を押す。モニターのVOLつまみで音量を上げる。 |
| はん点や点模様が走る。 | アンテナは、なるべく雑音源(エンジン、バイクなど)から離してください。 |
| 画像がぶれる。 | アンテナ線がはずれかかっていたり、山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込む場合は、画像がぶれることがあります。 |
| つないだ機器の画像や音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none">・接続コードがはずれている、またはしっかり接続されていない。・テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押す。 |
| ダイレクト選局ボタンを押してもチャンネルが選べない、またはテレビが映らない。 | <ul style="list-style-type: none">・ビデオまたはナビゲーションモードになっている。 →テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押し、テレビモードにする。・リモコンの乾電池が消耗している。・放送局がメモリーされていないボタンを押している。 |
| FMチューナーで音声が聞こえない | <ul style="list-style-type: none">・FMトランスミッターアンテナを取り付ける。・TVチューナーで設定した周波数と合っていない。 →設定した周波数に合わせます。 |
| 音は出るが、画像が出ない。 | <ul style="list-style-type: none">・消画機能が働いている。 →消画ボタンを押す。・テレビまたはビデオ画面で走行している。 →走行中は安全のため画面は映りません。 |
| リモコンのボタンを押しても反応がない。 | リモコンの乾電池が消耗している。 |

主な仕様

モニター

| | |
|--------|---|
| 種類 | 液晶カラー モニター |
| 表示方式 | 透過型TN液晶パネル |
| 駆動方式 | TFTアクティブマトリックス方式 |
| 画面の大きさ | 6型, 121.9 × 89.2 mm, 151 mm (幅 × 高さ、対角線径) |
| 画素数 | 224,640画素(縦234 × 横960) |
| スピーカー | 5.0cm ダイナミックスピーカー |
| 電源 | DC 12 V |
| 消費電流 | 約0.7 A |
| 外形寸法 | 162 × 129 × 31 mm (幅 × 高さ × 奥行き) 最大突起部含まず |
| 使用温度範囲 | -10 ~ +60 |
| 質量 | 約430 g |

TVチューナーユニット

| | |
|---------|---|
| 受信方法 | NTSC方式 |
| 受信チャンネル | 1CH ~ 12CH(VHF) 13CH ~ 62CH(UHF) (TVステレオ、音声多重) |
| 電源 | DC 12Vカーバッテリー |
| 消費電流 | 約0.5 A |
| 出力端子 | 映像出力: RCAピンジャック 1 Vp-p、75 Ω 音声出力: RCAピンジャック -10 dBs、 10 kΩ トランスミッターアンテナ出力: RCAピンジャック モニター出力: 16ピン角型(専用) 入力端子 映像入力(2系統): RCAピンジャック 1 Vp-p、75 Ω 音声入力(2系統): RCAピンジャック -10 dBs、 10 kΩ アンテナ入力(4系統): ミニジャック ナビ入力: 16ピン角型(専用) RCAピンジャック 映像 1 Vp-p、75 Ω 音声(モノラル) -10 dBs、 10 kΩ |
| 外形寸法 | 202 × 30 × 140 mm (幅 × 高さ × 奥行き) 最大突起部含まず |
| 質量 | 約750 g |

ワイヤレスリモコン

| | |
|------|--|
| 電源 | 単3乾電池 × 2 |
| 操作距離 | 約3 m(正面) |
| 外形寸法 | 62 × 25 × 115 mm (幅 × 高さ × 奥行き) 最大突起部含まず |
| 質量 | 約100 g 電池を含む |

TVアンテナ

| | |
|-----|--|
| コード | 5 m、75 Ω × 4(ミニプラグ付き) |
| 形状 | 186.0 × 28.0 × 41.6 mm (エレメント収納状態、基台含む) |
| 質量 | 約290 g(アンテナ1本およびケーブルを含む) |

付属品

| |
|------------|
| リモコン(1) |
| 単3乾電池(2) |
| 取り付け部品(一式) |
| 取扱説明書(一式) |

別売り品

| |
|-----------------------------|
| モニターカバー GM-62 |
| モービルTVアンテナ VCA-13 (車室内用) |
| モニター延長コード RC-116M (4 m) |

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111



* | - 3 - 8 5 8 - 8 7 1 - 0 2 * (1)